



広域ブロックの自立的発展を促す

「広域地方計画先導事業」が始まります。

地域が持つ資源や創意工夫をいかし近畿の新たな活力を創造しようと、広域ブロックの自立的な発展に向けた取り組みを進めています。そのひとつとして、「広域地方計画」の策定作業を支援する「広域地方計画先導事業」が21年度からはじめられます。

■広域地方計画先導事業とは

地域発意の先導的なソフト事業の立ち上げを支援

広域地方計画に関わる近畿圏独自の地域戦略について、地域に根ざした行政、経済主体の実践活動により実現できるよう、地方公共団体や経済団体などが考え、提案する先導的なソフト事業の立ち上げを支援します。

■広域地方計画先導事業のねらい

地域の意欲的な活動を推進

地域の担い手となる地方公共団体や民間団体が意欲的に活動することで、広域地方計画の効果的な実現を図ります。

広域ブロックの自立的発展

本格的な人口減少・高齢化、東アジアの急激な経済発展など、経済社会のパラダイムシフトに的確に対応した国土づくり

広域地方計画に基づくソフト事業の 戦略的・重点的展開

(府省横断的なテーマに関する
官民連携活動の促進)

広域連携による相乗効果、効率化

具体的には

全国の戦略目標に沿ったテーマについて、近畿圏独自の地域戦略の実現を先導するソフト事業を募り、基礎調査(市場・ニーズ調査、フィージビリティ調査、人材育成研修等)や、社会実験などの経費を支援します。

テ マ 例

○東アジア交流連携

東アジア向け国際産業集積・物流化交流連携 など

○持続可能な地域形成

地域資源を活かした産業の活性化 など

○災害に強い、美しい国土の管理継承

減災を重視した地域防災力の強化、循環との共生を重視した地域づくり

先導的なソフト事業の具体イメージ例

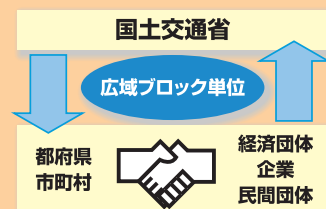
○食の地域ブランドのアジア展開

関係自治体・商工会・関連団体による加工食品輸出の市場調査・フィージビリティスタディ など

○広域静脈物流ネットワークの構築

関係自治体・事業者・NPOによるリサイクル資源の収集・運搬・利用ネットワーク構築のための社会実験など

広域地方計画に基づく ソフト事業の戦略的・重点的展開



近畿のめざす姿を先取りする先進性や広域性を備えた、各府県のプロジェクトを紹介するシリーズ企画「コースUP 近畿」。第4回は、兵庫県の「多自然居住」です。

コースUP 近畿

in HYOGO

“新・田舎暮らし”で都市の魅力と自然の恵みを楽しむ

～広く多彩な県土をもつ兵庫県からの提案 — “多自然居住”のすすめ～

多自然居住とは？

自然と共生する暮らしを実現し、地域社会の活性化にも貢献

- ◆「多自然居住」とは、多自然地域（自然豊かな農山漁村など）で、「自然に親しみ、自然に学び、その地域社会への貢献も図りながら、自然環境と共生する」、そんな、ゆとりある新たなライフスタイルのことです。
- ◆兵庫県では、「多自然地域（農山漁村）の過疎化・高齢化」という課題と、「都市居住者の自然回帰・ふるさと志向」という時代のニーズを背景に、“新・田舎暮らし”ともいふべき“多自然居住”の考え方を提案し支援しています。
- ◆兵庫県では、地域の需要に即した「多自然居住」を推進するために各種支援を行っています。
 - ・支援サイト（兵庫で田舎暮らし <http://support.hyogo-jkc.or.jp/inaka/>）を通じて、「多自然居住」のための基本情報や市町村の生活情報を提供しています。
 - ・市町村に対しては、「多自然居住」推進事業（支援協議会の設置、計画の策定等）への補助、基盤整備・交流拠点整備等への補助、NPO等の広域活動団体への助成などを実施しているほか、「多自然居住」支援サイトを開設して市町村の事業を紹介、広報面での支援も行っています。



都市居住者の新・田舎暮らしを提案

7つのタイプ

“多自然居住”を楽しむ多様なライフスタイル・イメージ

◆「多自然居住」には、週末や余暇を利用した一時滞在から、半定住、定住など7つの生活スタイルが考えられます。

- ★**半定住**（週末滞在型）生活基盤は都市に置き、週末に多自然地域で余暇を楽しむ。
（マルチハビテーション型）都市にも多自然地域にも住居を持ち、それぞれの暮らしを楽しむ。
- ★**定住**（都市通勤型）都市近郊の多自然地域に住み、休日は家庭菜園などを楽しむ。
（テレワーク・SOHO型）多自然地域に住み、情報機器を利用した仕事や芸術活動を行う。
（地元就業型）既存集落内に居住し、家族とともに多自然地域に生活基盤を移す。
（リタイア・年金生活型）定年退職後の生活の場として田舎暮らしを選ぶ。
- ★**永住**（永住型）老後も含め、地域社会の一員として永住する。



滞定型市民農園クラインガルデン

小規模集落元気作戦

都市と多自然地域の参画と協働で、輝く未来をつくる

◆兵庫県では、人口が減少し、高齢化が進んだ小規模な集落を対象に、都市とのパートナーシップのもと、「交流」をキーワードに活性化に取り組む住民たちの活動を応援しています。

- 都市部の団体やグループから集落のパートナーを募集し、継続したおつきあいを続けることで、都会の人にとっては第二のふるさとづくり、集落の人たちにとっては都会の新しい親戚づくりになります。そしてゆくゆくは集落ごとの多彩な取り組みが自立的に展開されることを目指します。
- モデルとなる集落を選定し、市町と協働した集落活性化に向けた住民の主体的な取り組みを支援します。対象集落の状況を踏まえながら、4つの段階（表1）で展開し、適宜アドバイザーを派遣します。

（表1）モデル事業実施期間の展開

<準備段階>	<第1段階>	<第2段階>	<第3段階>
集落住民の話し合い、合意形成	パートナー探し、マッチング	交流インターンシップの実施	交流拠点の整備等
アドバイザー等の派遣			

●都市部のパートナーを募集しています。詳しくはHP (<http://shoukiboshuuraku.web.fc2.com>)



そば打ち体験



子どもたちの収穫



近畿が変わります Revive KINKI

近畿圏広域地方計画協議会は、以下の機関で構成されています。

- <府 県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 岡山県 徳島県
- <指定都市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市
- <市町村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会
- <経済団体等> (社)関西経済連合会 大阪商工会議所 (社)関西経済同友会 関西経営者協会 京都商工会議所 堺商工会議所 神戸商工会議所 関西広域機構
- <国の地方支分部局> 近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理局 経済産業省近畿経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省中部地方整備局 国土交通省中国地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監理部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所

●ホームページでさらに詳しい情報を提供しています。

国土形成計画 近畿圏広域地方計画
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

アクセスは、検索サイトから

近畿圏広域地方計画 検索